

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12)	重度化や終末期の支援に向け、医療機関や訪問看護と連携し、看取りを行う準備を行っているが同意書等はない。利用者や家族には意向の確認を行なっているが家族との話し合いでは十分な説明が行われていない。	重度化や終末期に対するサポート体制を整える	①看取りに関する指針を明文化し、契約時に説明・同意を得え、その後も段階的に話し合いの場を設け、意思確認を行う。 ②家族・かかりつけ医や看護師と話し合いの機会を作り、連携を図る。 ③看取りに際して訪問看護と勉強会を適宜行う。	3ヶ月
2	3)	回を重ねるごとに、委員や地域住民の理解も深まりつつあるが推進会議への有識者の参加は少ない。	地域とのつながりが広がり、認知症や障害に対する理解を共有し、意見交換ができる。	①地域の催しや交流の場に出かけ、広く地域住民の方とふれあい、理解を深めることができるよう図る。参加状況や協力体制等について意見交換する場として運営推進会議で話しあう。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。